

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価の方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。なお、取得価額と債権金額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・退職手当積立金設置要綱に定める額を計上している。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は税込み方式

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残額 (単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	130,000,000	15,000,000	10,000,000	135,000,000
計	130,000,000	15,000,000	10,000,000	135,000,000
特定資産	27,164,316	34,977,609	5,002,491	57,139,434
計	27,164,316	34,977,609	5,002,491	57,139,434
合計	157,164,316	49,977,609	15,002,491	192,139,434

### 3 基本財産及び特定資産の財源の内訳 (単位:円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産	135,000,000	135,000,000	0	0
計	135,000,000	135,000,000	0	0
特定資産	57,139,434	0	11,359,654	45,779,780
計	57,139,434	0	11,359,654	45,779,780
合計	192,139,434	135,000,000	11,359,654	45,779,780

### 4 補助金の内訳並びに交付者・当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金・共催負担金・国助成金	周南市他	0	41,411,403	41,411,403	0	-
計		0	41,411,403	41,411,403	0	

### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産			
国債	9,999,309	10,372,082	372,773
地方債	29,986,000	28,877,000	△ 1,109,000
公社債	39,429,751	34,873,800	△ 4,555,951
基本財産 小計	79,415,060	74,122,882	△ 5,292,178
退職給付引当資産			
国債	19,982,691	18,089,147	△ 1,893,544
特定資産 小計	19,982,691	18,089,147	△ 1,893,544
合計	99,397,751	92,212,029	△ 7,185,722